

# 夏季輸送の概要提案される



81.5.18

No. 742

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〜六(公衆電話)22七二〇七

5月16日開催された団体交渉において、千鉄当局より、56年度の夏季輸送について大要次のような概要提案が行われた。ほぼ例年並みの臨時列車増発を骨子とする提案内要である。勤労千葉からは

- ①、夏季輸送そのものについては労務条件が整えば協力する。
- ②、しかし、57年度特退要員の補充見込みも立たないような当局の対応の中では夏季輸送に協力する基盤がない。
- ③、無人駅の運転保安等、細部にも問題がある。

ことを指摘し、種々論議の上で、当局が勤労千葉から指摘された問題を具体的に解決することを前提に、労務条件の細部について団交および専向委員会で詰めてゆくことを確認して団交を終った。

## 夏季輸送提案の概要

- 一、夏季ダイヤ実施期間  
7月18日(土)から8月23日(日)まで、37日間。(前年は、7/19(土)〜8/24(日)の37日間)
- 二、輸送力設定方針
  - (1)、内房線、外房線——(省略)
  - (2)、総試本線——(省略)
  - (3)、列車設定本数——(下段別表の通り)
- 三、始発駅の統一
  - (1)、特急、快速列車は東京発とする。但し、903M(さざなみ7号)は、西国発とする。
  - (2)、急行列車は西国発とする。
- 四、特急・急行・快速列車の臨時停車駅——(省略)
- 五、その他
  - (1)、増発(延長)した快速列車のうち15両編成については、君津、上総一ノ宮駅で分割・併合作業を行う。
  - (2)、鹿島線の週末急行一往復を夏季ダイヤ期間中は運休する。
  - (3)、快速列車及び普通列車を一部運休する。

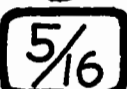
## 六、夏季ダイヤ前後の輸送計画

7月4日(土)から7月12日(日)までと、8月29日(土)から9月27日(日)までの各土、休日には各線の週末特急・急行を運転する。

※下表中、「特急」欄の( )は週末列車を、< >は臨時列車の再掲を示す数字であることを注意。

線別	区分	平日				休日			
		特急	急行	快速	計	特急	急行	快速	計
内房線	本年	(3)<1>10	3	1	14	(2)<1>9	3	2	14
	前年	(3)<1>10	3	0	13	(2)<1>9	3	2	14
	増減	—	—	1	1	—	—	—	—
外房線	本年	(2)8	3	2	13	(2)<1>9	3	4	16
	前年	(2)8	3	3	14	(2)<1>9	3	4	16
	増減	—	—	1	1	—	—	—	—

## 81春団仲裁々定書交付される



公労委・仲裁委員会は5月16日、労仲委会館において三公社五現業関係各組合および各当局に対して、仲裁々定書を交付し、仲裁委員長談話を発表した。

勤労千葉からは、奥川委

員長、西森法対部長以下が出席し、公労委よりの仲裁々定書の交付を受けた。

## 「三、ハニ%ハニ%」

これ自身極めて低額な内容であるが、これすらも

認めないとする政府・自民党の動向があり、35万人体制合理化攻撃とのバスター攻撃粉碎も含め、今後、仲裁完全実施へ向け、即ちを強化してゆかなければならない。